

5 異常を感じたら

万一異常を感じたら切替スイッチをOFFにして、ブレーカーを落とし、販売店、施工店、又は弊社窓口へご一報ください。分解は危険です。

6 アフターサービス

- 異常の場合は⑤に習って次の事項をご連絡ください。
 - ①おとこ
 - ②お名前
 - ③商品名
 - ④異常の状況
 当社がお客様から得る個人情報、本アフターサービス及び当社からのお知らせ以外の目的には利用致しません。
- 保証期間の修理は無料で行います。但し保証期間中であっても有料になる場合があります。詳しくは保証書記載の「無料修理規定」をお読みください。
- 保証期間経過後の修理についてはご相談ください。
- この排気システム用補修部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は経済産業省によるものです。

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は、機種名をご確認の上、お買い上げの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

代表：025-250-8861

受付時間：平日9:00～17:30(但し12:00～13:00の間は除く)

土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

なお、名称、所在地、電話番号は、変更される場合がありますので、ご了承ください。

室名	ブリーズの開度	流量 m³/h

本社/新潟営業所 〒950-0863 新潟市東区卸新町1丁目2059-5 TEL(025)250-8900 FAX(025)250-8877
 札幌支店 〒007-0801 札幌市東区東苗穂1条2丁目3-9 TEL(011)781-8201 FAX(011)783-6166
 東北営業所(秋田) 〒010-1423 秋田市仁井田字大野1 TEL(018)892-6080 FAX(018)892-6085
 東京営業所 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-6-8 鈴木ビル TEL(03)3357-5755 FAX(03)3357-5589
 大阪営業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町9-12第11マイダビル605 TEL(06)6368-2040 FAX(06)6368-2041
 九州支店 〒813-0044 福岡市東区千早2丁目31-14 TEL(092)674-3688 FAX(092)674-3687
 円山研究所[注登録] 〒064-0944 札幌市中央区円山西町10丁目4-5 TEL・FAX(011)612-6335

2022.12.3000



排気型セントラル換気システム

グリーンファン
GREEN FAN

MVS-10/B6X
MVS-10/B3X

責任者印

< お客様用 >

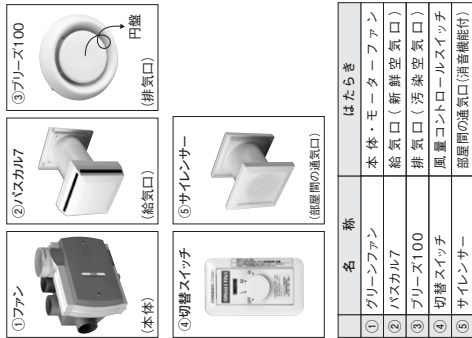
お手入れ
マニュアル

このたびは換気システムグリーンファンをお買い上げいただき、ありがとうございます。また、このシステムは住まいのエアークオリティを保つために常時換気を行うためのものです。正しくお使いいただくために、ご使用前に本マニュアルと取扱説明書を必ずお読みください。本マニュアルは、フェースカバーのポケットに戻し、必要とときにお役立てください。

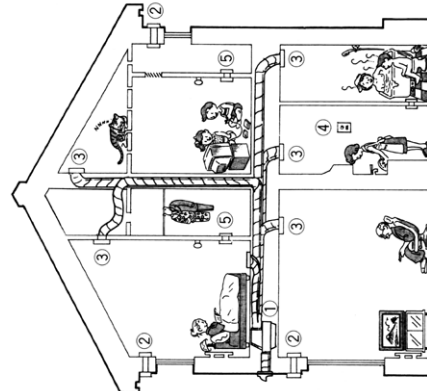
1 安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただくため、別紙「取扱説明書」の「1 安全上のご注意」をお読みいただいた上で進めてください。

2 各部の名称と機能



名称	はたらき
① グリーンファン	本体・モーターファン
② バスカル7	給気口(新鮮空気口)
③ ブリーズ100	排気口(汚染空気口)
④ 切替スイッチ	風量コントロールスイッチ
⑤ サイレンサー	部屋間の通気口(消音機能付)



3 エアクオリティを保つために

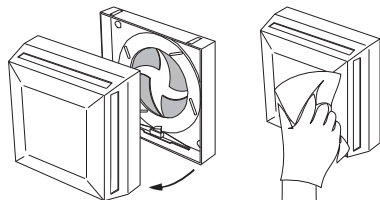
- 換気を十分に行うため室内のドアはできるだけ開け放しておいてください。
- 部屋どうしに温度差があると、冷たい空気が室内を走り結露の原因となります。
- できるだけ全室暖房とし、温度差が生じないようにしてください。開放型ストーブ、ファンヒーターはご使用をひかえてください。結露の原因となります。
- 本システムは24時間連続運転を原則としています。長時間留守にする以外はスイッチを切らないでください。

4 日常の点検およびお手入れ

給排気グリル(お手入れの目安 月1回程度)

給気グリル(パスカル)

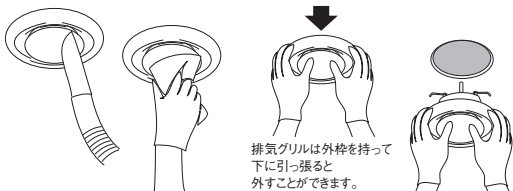
- パスカルのカバーは引き出すと図のように外れます。
- 表面の汚れは水又は台所用中性洗剤を浸した布でふき取ったあと、から拭きしてください。(お手入れの目安は3ヶ月に1度程度)
- フィルターの汚れは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で濯ぎ洗いをします。洗った後は充分に乾燥させてから元どおりに取り付けてください。
- フィルターの清掃を怠ると、空気が停滞し結露が発生しやすくなり壁が結露水で汚れることがありますので十分ご注意ください。
- 詳しくはパスカル7取扱説明書をご覧ください。



排気グリル(ブリーズ100)

- 表面のほこりは掃除機で吸い取り、表面の汚れは水又は台所用中性洗剤を浸した布でふき取ったあと、から拭きしてください。(付属の開度ゲージで目盛を確認しておいてください。)

※各パーツのお手入れには中性洗剤以外使用しないでください。
ベンジン、アルコール、シンナー等の溶剤は使用しないでください。



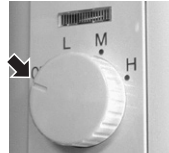


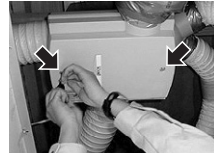
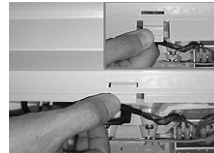



排気口(ブリーズ100)の開度について

室名	ブリーズの開度	流量m ³ /h
(例)キッチン	7.5	20

※排気口(ブリーズ100)の開度は予め設計計算によって定めています。無闇に開度を変えると各部屋の排気バランスが崩れる恐れがありますので開度は変えないでください。

ファン本体(お手入れの目安 1年に1回程度)

メンテナンスには汚れても良い服装で行います。掃除機、手袋、雑巾、脚立や椅子、⊕ドライバー、古新聞紙、歯ブラシなどが必要になりますので、あらかじめ準備しておきましょう。

<p>1 </p> <p>ファン清掃前には必ず切替スイッチをOFFにします。(ランプ点灯)</p> <p>⚠️ スwitchをOFFにしてから1~2分間はモーターがまだ回転しており、この間の取り外しは大変危険ですから必ず3分間おいてから取り外すようにしてください。</p>	<p>2 </p> <p>次に必ず安全のため電源ブレーカーを切ってください。</p> <p>分電盤換気項目のブレーカーを操作することで停止できます。</p> <p>⚠️ 切り替えスイッチのランプが消えた事を確認してください。</p>
<p>3 </p> <p>ファン本体設置の天井点検口を手で支えながら開き、フェース部分が見えるか確認します。</p> <p>⚠️ 作業中頭上には十分注意してください。作業の際は、対象物を手でおさえてください。</p>	<p>4 </p> <p>⊕ドライバーで本体前面の2本のビスを回し、フェースカバーを外します。(ビスは無くさないようにしてください。)</p> <p>⚠️ ファンユニット掃除の際、けがをすおそれがありますので、ゴム手袋を使用してください。</p>
<p>5 </p> <p>モーター付の配電盤が現れますので上下のツメを引っ張り、「カチッ」と音がしたらモーターをゆっくり下げて取り出します。</p> <p>⚠️ モーターの羽等破損しないよう慎重に行ってください。ツメが固い場合、⊕ドライバーで優しく差し込みロックを外してください。強く差し込むとツメが割れる恐れがあります。</p>	<p>6 </p> <p>さかさまの場合、重みでモーターが落ちてこないように気をつけてください。モーターは手を添えて外し、ゆっくりお掃除しやすい場所へそのまま移動します。</p>
<p>7 </p> <p>手を切らないように手袋を着用してから、ファンの羽根のほこりをブラシ等できれいに落します。清掃には毛が長目のブラシ、歯ブラシや、掃除機の吸い込み口などを利用してほこりを取ると簡単です。</p>	<p>8 </p> <p>汚れのひどい場合は、ブラシや布に中性洗剤を含ませ羽根の汚れを落としてください。きれいになったら逆の手順で戻します。</p> <p>⚠️ モーターに直接洗剤等を吹きかけることは危険ですのでお止めください。</p>